



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社極楽湯ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 2340 URL <https://www.gokurakuyu-holdings.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長グループCEO (氏名) 新川 隆文
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員CFO (氏名) 鈴木 正守 (TEL) 03-5275-4126
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	6,967	21.9	241	—	145	—	3	—
2023年3月期第2四半期	5,718	32.9	△117	—	△9	—	△73	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 180百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 △18百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	0.12	0.11
2023年3月期第2四半期	△3.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,977	2,206	12.1
2023年3月期	15,171	149	△0.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,937百万円 2023年3月期 △137百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

2024年3月期の連結業績予想につきましては、世界的なエネルギーコストや原材料費の上昇、中国経済や為替の変動等の不確定な要素を現時点において合理的に算定することが困難であるため未定としております。今後、合理的な算定が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	30,868,300株	2023年3月期	22,808,300株
2024年3月期2Q	75株	2023年3月期	75株
2024年3月期2Q	25,538,935株	2023年3月期2Q	20,862,164株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類へ移行されたことに伴い、経済活動の正常化が進み、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や円安等に起因するエネルギーコストや物価の高騰に加え、中国経済の下振れ懸念や世界的な金融引き締めの影響等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループにおいては、連結売上高6,967百万円（前年同期比21.9%増）、営業利益241百万円（前年同期営業損失117百万円）、経常利益145百万円（前年同期経常損失9百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益3百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失73百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと次のとおりです。

① 日本

当セグメントにおきましては、売上高6,410百万円（前年同期比18.0%増）、セグメント利益（営業利益）606百万円（前年同期比106.4%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における日本の業績は、「ホロライブ」や「ハイキュー!!」等の人気コンテンツとのコラボが好調に推移したことに加え、南種子町や農業協同組合（JA）とのコラボイベントを実施するなど地方活性化に取り組むとともに、直営店舗での入館料値上げやシーズン料金を適用したこと、サウナイベントを積極的に実施したことが売上高に大きく貢献した一方、コスト面でも電気代・ガス代の補助における恩恵を受けたことや全店で節電に取り組んだ結果、大幅な増収増益となりました。

② 中国

当セグメントにおきましては、売上高557百万円（前年同期比95.5%増）、セグメント損失（営業損失）275百万円（前年同期セグメント損失323百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における中国の業績は、前年同期がゼロコロナ政策に伴う臨時休業が続いたことに対し、中国経済の回復が遅れている状況が続くコロナ前には遠く及ばないものの通常通り営業ができたことにより大幅な増収となりました。しかしながら、例年第1・第2四半期は閑散期であることに加え、一方のコスト面で、施設維持管理コストや人件費、エネルギーコスト等が増加し、前年同期より改善したもののセグメント損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ806百万円増加し、15,977百万円となりました。これは主に、建物及び構築物の修繕等により641百万円増加したことや、投資有価証券が時価評価に伴い131百万円増加したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,250百万円減少し、13,771百万円となりました。これは主に、短期及び長期借入金返済により1,247百万円減少したことによるものであります。

最後に、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,056百万円増加し、2,206百万円となりました。これは主に、第三者割当増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ947百万円増加したことによるものであります。また、自己資本比率につきましては、12.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症による消費行動の抑制がなくなり、国内の経済活動は、急速に回復がみられているものの、エネルギーコストや原材料費の上昇、中国経済や為替の変動等が不確定な要素であり、先行きを見通す事は非常に困難であると考えております。

2024年3月期の業績予想につきましては、引き続き未定とし、合理的に見積もる事が可能になった時点で、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,487,972	5,786,994
売掛金	410,070	417,722
未収入金	17,587	29,148
棚卸資産	93,019	98,646
その他	139,417	223,465
流動資産合計	6,148,067	6,555,976
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,230,083	16,871,261
減価償却累計額	△10,899,106	△11,334,552
建物及び構築物（純額）	5,330,977	5,536,708
工具、器具及び備品	1,444,413	1,469,773
減価償却累計額	△1,175,652	△1,169,264
工具、器具及び備品（純額）	268,761	300,509
土地	1,393,241	1,393,241
建設仮勘定	18,118	80,386
有形固定資産合計	7,011,099	7,310,845
無形固定資産		
その他	26,654	71,248
無形固定資産合計	26,654	71,248
投資その他の資産		
投資有価証券	142,625	274,375
長期貸付金	423,049	451,456
敷金及び保証金	1,293,670	1,344,837
関係会社株式	345,086	266,267
その他	440,613	406,957
貸倒引当金	△659,523	△704,537
投資その他の資産合計	1,985,521	2,039,356
固定資産合計	9,023,275	9,421,451
資産合計	15,171,342	15,977,428

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	465,947	462,637
短期借入金	1,316,053	1,138,322
1年内返済予定の長期借入金	2,515,792	2,837,831
未払金	846,937	848,813
未払法人税等	77,750	201,223
前受金	1,618,882	1,622,195
賞与引当金	44,448	30,165
その他	680,906	516,140
流動負債合計	7,566,718	7,657,328
固定負債		
長期借入金	5,408,357	4,016,173
退職給付に係る負債	156,867	142,992
資産除去債務	1,463,995	1,471,322
繰延税金負債	387,745	428,275
その他	38,303	55,097
固定負債合計	7,455,270	6,113,861
負債合計	15,021,988	13,771,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,216,509	5,163,559
資本剰余金	3,792,643	4,739,693
利益剰余金	△7,970,090	△7,967,016
自己株式	△37	△37
株主資本合計	39,026	1,936,199
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△156	92,228
為替換算調整勘定	△176,609	△91,395
その他の包括利益累計額合計	△176,765	833
新株予約権	287,093	269,204
非支配株主持分	—	—
純資産合計	149,354	2,206,238
負債純資産合計	15,171,342	15,977,428

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	5,718,205	6,967,810
売上原価	5,215,113	6,029,382
売上総利益	503,092	938,428
販売費及び一般管理費	620,217	696,642
営業利益又は営業損失(△)	△117,124	241,785
営業外収益		
受取利息	4,493	5,494
受取家賃	12,746	12,773
為替差益	—	1,440
協賛金収入	56,090	16,545
助成金収入	93,827	2,659
原油スワップ差益	72,929	7,404
その他	23,344	8,726
営業外収益合計	263,432	55,044
営業外費用		
支払利息	50,108	37,530
支払手数料	18,080	28,064
持分法による投資損失	21,632	70,592
シンジケートローン手数料	5,750	6,000
為替差損	989	—
デリバティブ評価損	58,766	7,392
その他	200	1,762
営業外費用合計	155,527	151,342
経常利益又は経常損失(△)	△9,219	145,487
特別利益		
固定資産売却益	—	910
新株予約権戻入益	29,605	35,377
投資有価証券売却益	114,021	—
特別利益合計	143,627	36,287
特別損失		
固定資産除却損	764	6,106
特別損失合計	764	6,106
税金等調整前四半期純利益	133,643	175,668
法人税、住民税及び事業税	206,750	172,202
法人税等調整額	46	437
法人税等合計	206,796	172,640
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△73,152	3,027
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△73,152	3,027

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△73,152	3,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,523	91,611
為替換算調整勘定	94,642	85,213
持分法適用会社に対する持分相当額	—	773
その他の包括利益合計	55,118	177,598
四半期包括利益	△18,034	180,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△18,034	180,626
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	133,643	175,668
減価償却費	394,964	350,255
株式報酬費用	19,298	20,942
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	8,897	△13,874
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22,203	45,343
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,834	△14,591
受取利息及び受取配当金	△4,493	△5,494
新株予約権戻入益	△29,605	△35,377
投資有価証券売却損益 (△は益)	△114,021	—
支払利息	50,108	37,530
為替差損益 (△は益)	△21,214	△1,440
持分法による投資損益 (△は益)	21,632	70,592
助成金収入	△93,827	△2,659
売上債権の増減額 (△は増加)	△154,583	△51,491
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,499	△5,152
未収消費税等の増減額 (△は増加)	180,856	△3,932
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△420,268	△66,883
仕入債務の増減額 (△は減少)	79,146	△7,911
建設協力金の賃料相殺	31,344	27,198
未払金の増減額 (△は減少)	63,208	48,996
その他	△68,294	△132,693
小計	103,329	435,023
利息及び配当金の受取額	4,009	5,088
利息の支払額	△49,660	△40,849
助成金の受取額	93,827	2,659
法人税等の支払額	△229,469	△55,864
法人税等の還付額	△873	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△78,837	346,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△59,250
定期預金の払戻による収入	59,700	59,250
有形固定資産の取得による支出	△176,463	△653,133
差入保証金の差入による支出	△4,716	△27,600
差入保証金の回収による収入	8,768	1,792
投資有価証券の売却による収入	525,307	—
貸付金の回収による収入	232	236
その他	2,709	△45,980
投資活動によるキャッシュ・フロー	415,537	△724,684

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	△186,438	△177,731
長期借入金の返済による支出	△1,068,591	△1,070,146
割賦債務の返済による支出	△16,423	△9,757
株式の発行による収入	152,513	1,894,100
配当金の支払額	△7	—
新株予約権の発行による収入	5,880	—
新株予約権の取得による支出	—	△3,453
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,113,067	633,011
現金及び現金同等物に係る換算差額	37,182	40,678
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△739,183	295,062
現金及び現金同等物の期首残高	6,172,975	5,429,952
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,433,791	5,725,014

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、新型コロナウイルス等による外的要因の影響を大きく受け、業績が悪化し前連結会計年度まで4期連続して当期純損失を計上しております。また、国内の借入金（2023年9月末現在借入残高7,992百万円）について、すべての取引金融機関から支援（返済猶予）を受けている状況が2020年6月から続いております。以上より、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような状況が存在しております。

当社では、当該状況を解消すべく、次の施策に取り組んでおります。

(1) 事業の収益改善策について

国内の温浴事業につきましては、人気コンテンツ等とのコラボを頻繁に実施することにより入館者数の増加やお客様単価の向上に伴う売上高の回復、売上拡大を目指します。また、エネルギーコストや物価高などの影響はあるものの、シーズン料金の適用や入館料の値上げにより適正な利益を確保するとともに、店舗によって必要不可欠な修繕や改装リニューアルを適切に判断して実行します。

(2) 資金調達

2023年7月31日に第三者割当増資が完了し、1,894百万円を資金調達しました。また、それ以前においても2回にわたるファシリティ型新株予約権の行使による資金調達により、1,565百万円を資金調達しました。

(3) 金融取引の正常化

通常の金融取引に戻すべく、業績が改善した国内の利益や資金調達した資金を原資に取引金融機関と交渉を進めております。なお、借入金の返済については2023年12月31日まで猶予することについて承諾を得ております。また、財務制限条項に抵触した長期借入金については期限の利益の喪失を2023年12月31日まで猶予することについて承諾を得ております。

現在、業績が改善した国内の利益や資金調達した資金を原資に、通常の金融取引に戻すべく取引金融機関と交渉を進めております。しかしながら、これら対応策は実施途上であることから、関係当事者との最終的な合意が得られていないものもあるため、現時点においては継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間において、第三者割当増資により資本金及び資本準備金がそれぞれ947,050千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が5,163,559千円、資本準備金が2,510,159千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	5,433,018	285,187	5,718,205	—	5,718,205
外部顧客への売上高	5,433,018	285,187	5,718,205	—	5,718,205
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,433,018	285,187	5,718,205	—	5,718,205
セグメント利益又はセグメント損失(△)	293,872	△323,328	△29,456	△87,668	△117,124

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△87,668千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1、2	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	中国	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,410,353	557,457	6,967,810	—	6,967,810
外部顧客への売上高	6,410,353	557,457	6,967,810	—	6,967,810
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,410,353	557,457	6,967,810	—	6,967,810
セグメント利益又はセグメント損失(△)	606,594	△275,734	330,860	△89,074	241,785

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△89,074千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

当社は、2023年5月26日付「中国連結子会社の株式譲渡、中国登録商標権の譲渡及び債権放棄等並びに中国連結子会社の割当増資に関するお知らせ」及び2023年10月20日付「(開示事項の経過)中国連結子会社の株式譲渡、中国登録商標権の譲渡及び債権放棄等並びに中国連結子会社の割当増資に関するお知らせ」にて開示しましたとおり、当社連結子会社である「極楽湯中国控股有限公司」(以下、「香港子会社」という。)の株式譲渡に関して2023年11月1日付で手続きが完了し、特別利益が発生することとなりましたので下記のとおりお知らせいたします。

なお、当社保有の中国登録商標権の譲渡及び香港子会社を含めた中国グループの連結子会社への債権放棄や債権譲渡につきましては、予定どおり契約手続きが完了し、現地当局の承認手続きを進めております。

1. 概要

当社が保有する香港子会社の株式146,949株(当社所有割合51.00%)のうち、131,827株を金之泉有限公司(代表:劉曉鋒)へ350百万円で譲渡いたしました。当社は、本株式譲渡により、2024年3月期個別決算において特別利益として350百万円の株式売却益を計上する見込みであり、連結上の影響につきましては算定中としておりましたが、個別上と同じく、特別利益として350百万円の株式売却益(特別利益)を計上する見込みであります。

なお、本株式譲渡に関する詳細については、2023年5月26日付「中国連結子会社の株式譲渡、中国登録商標権の譲渡及び債権放棄等並びに中国連結子会社の割当増資に関するお知らせ」及び2023年10月20日付「(開示事項の経過)中国連結子会社の株式譲渡、中国登録商標権の譲渡及び債権放棄等並びに中国連結子会社の割当増資に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 株式譲渡完了日

2023年11月1日

3. 今後の見通し

本株式譲渡に係る子会社株式の売却益350百万円を2024年3月期第3四半期会計期間に計上する見込みです。また、当社の持株比率が5.24%(15,122株)に低下したことに伴い、現在調整中である香港子会社の割当増資の実行にかかわらず、今後の経営体制について役員変更など実質的な支配状況が変わることが見込まれます。将来的に当社グループの支配状況が変わった際には、当該香港子会社が統括する中国グループの連結子会社が当社の連結対象から外れる見込みであります。